

次の文章を、声に出して読んでみましょう。

① 加工に便利な材料を買い求める。

② 希望通りの席順になり、うれしい。

③ 熱帯の気候が周辺国に広がっている。

④ 毎朝欠かさず植物の芽を観察するのが兄の日課だ。

⑤ 松竹梅やしめ縄を工夫してかざり、お正月を祝う。

⑥ 各国の国旗が印刷された本を紙で包む。

⑦ 夜道を照らす街灯に、鳥が巣を作った。

⑧ 科学ざっしの付録は鏡と試験管だ。

⑨ 話し合った結果、何種類かの案を共同で発表した。

⑩ 博物館の学芸員が英語で説明をする。

⑪ 残飯からひ料を生産する機械が完成した。

⑫ 底の浅い箱の中には札束が入っていた。

⑬ 昨日は老人の話聞いていて、不覚にも泣いてしまった。

⑭ 前回の失敗を反省し、今回は塩の量をひかえた。

⑮ 議会は労働や治安に関する法令を改めた。

⑯ 司法長官の氏名をたしかめる。

音読 ② 四年生で習う漢字

次の文章を、声に出して読んでみましょう。

- 17 清けつな器でゼリーを冷やして固める。
- 18 例年通り秋に花が散り、季節は冬になった。
- 19 浴室の前で衣服をぬぐ。
- 20 競争に参加するには勇気を要する。
- 21 その円の直径は一メートル以上、二メートル未満です。
- 22 一億の一万倍が一兆です。
- 23 いくつかの郡が合わさり、市に変わった。
- 24 高さは低くても自然ゆたかな景観を害する建物は好ましくない。
- 25 努力の末、英語の単語を二百こ覚えると
いう目標に達した。
- 26 生徒が伝記を読みながら、辞典の使い方を特訓している。
- 27 孫は積極的に学び、卒業するまで連続して満点を取り続けた。
- 28 兵隊が軍手をはめて作業をする。
- 29 貨物を船に乗せて陸上の倉庫まで運ぶ。
- 30 副大臣は必ず協力すると側近に約束した。
- 31 児童が仲良く笑顔で歌を輪唱している。
- 32 沖合で漁業をするため、船の位置をはかる。

次の文章を、声に出して読んでみましょう。

③③ 折角牧場に来たが、鹿や熊はいないと聞いてがっかりした。

③④ 給料だけで借金を返し終えることに無理なく成功した。

③⑤ 太陽がしずんで夕焼けが広がり、辺りは静かになった。

③⑥ 栄養に富んだ食事のおかげでいつも健康だ。

③⑦ 最初は井戸水のあまりの冷たさにおどろいた。

③⑧ 信念を持って差別や戦争に反対する。

③⑨ 選挙で国民は平和を願う人物に票を投じた。

④① 産地から飛行機で野菜を運ぶ。

④② 四国地方には愛媛、香川、徳島、高知の四県がある。

④③ 滋賀県と岐阜県、佐賀県と長崎県は、それぞれとなり合っています。

④④ わたしは山梨県で生まれました。

④⑤ 埼玉、群馬、栃木、奈良の四県は、いずれも海に面していない。

④⑥ 茨城県では野菜、静岡県では茶が多く生産されている。

④⑦ 新潟県の広さは大阪府の広さの六倍以上ある。

⑦⑧⑨ ④年生で習う漢字①

□に漢字を書き入れて、文を作りましょう。

① □^か 工^{こう}に □^{べん} □^り な □^{ざい} □^{りよう} を 買^かい □^{もと} める。

② □^き □^{ぼう} 通^{とほり}りの □^{せき} □^{じゆん} になり、うれしい。

③ □^{ねつ} □^{たい} の気^き □^{こう} が □^{しゅう} □^{へん} 国^{こく}に 広^{ひろ}がっている。

④ 毎^{まい}朝^{ちよう} □^か かさ^{かさ}ず植物^{じふつ}の □^め を する^{する}のが兄^{あに}の日^ひ □^か だ。

⑤ □^{しょう} 竹^{たけ} □^{ばい} やし^{やし}め □^{なわ} を工^{こう} □^{ふう} して かざ^{かざ}り、お正月^{おしんげ}を □^{いわ} う。

⑥ □^{かつ} 国^{こく}の国^{こく} □^き が □^{いん} □^{さつ} された本^{ほん}を 紙^{かみ}で □^{つつ} む。

⑦ 夜^よ道^{みち}を □^て らす □^{がい} □^{とう} に、鳥^{とり}が □^す を 作^{つく}った。

⑧ 科^か学^{がく}ざつ^つしの □^ふ □^{ろく} は □^{かがみ} と だ。

⑨ □^{あん} を □^{きよう} 同^{どう}で発^{はつ}表^{ぱつ}した。 □^{けつ} □^か 、何^{なに} □^{しゅ} □^{るい} かの

テ ス ト 四年生で習う漢字②

□に漢字を書き入れて、文を作りましょう。

⑩ □ ^{はく} 物館の学 □ ^{げい} 員が □ ^{えい} 語で
明 ^{せつ} をする。

⑪ □ ^{ざん} からひ料を □ ^{ばん} 生 □ ^{ざん} する □ ^き □ ^{かい} が
□ ^{かん} □ ^{せい} した。

⑫ □ ^{そご} の □ ^{あや} い箱の中には
□ ^{やっ} □ ^{たば} が入っていた。

⑬ □ ^ふ □ ^{やく} 日は □ ^{ろう} 人の話を聞いていて、
□ ^{かく} □ ^な にも □ ^な いてしまった。

⑭ □ ^{しつ} 前回の □ ^{ばい} を反 □ ^{せい} し、
今回 ^{しお} は □ ^{りよう} の □ ^{りよう} をひかえた。

⑮ □ ^ぎ 会 ^は □ ^{ろう} □ ^{どう} や □ ^ち 安に □ ^{かん} する
□ ^{ほう} □ ^{らい} を □ ^{あらた} めた。

⑯ □ ^し 法長 □ ^{かん} の □ ^し 名をたしかめる。

⑰ □ ^{かた} □ ^{せい} けつな □ ^{うっわ} でゼリーを □ ^ひ やして
□ ^{かた} める。

⑱ □ ^{らい} 年通り秋に花が □ ^ち り、 □ ^き □ ^{せつ} は
冬になった。

テ ス ト 四年生で習う漢字③

□に漢字を書き入れて、文を作りましょう。

⑱ □^{よく} 室の前で □^い 服をぬぐ。

⑳ □^{きょう} □^{そう} に □^{さん} 加するには □^{ゆう} 気を

□^{よう} する。

㉑ その円の直 □^{けい} は一メートル □^い 上、

ニメートル □^み □^{まん} です。

㉒ 一 □^{おく} の一万倍が一 □^{ちよう} です。

㉓ いくつかの □^{ぐん} が合わさり、市に □^か わった。

㉔ 高さは一 □^{ひく} くても自 □^{ぜん} ゆたかな □^{けい} 観を

㉕ □^ど かの □^{すえ} 、英語の □^{たん} 語を二百〇

覚えるという目 □^{ひよう} に □^{たつ} した。

㉖ 生 □^と が □^{てん} 記を読みながら、 □^{とつ} □^{くん} している。

㉗ □^{まこ} は □^{せつ} □^{きよく} □^{てき} に学び、 □^{そつ} 業する

まで □^{れん} □^{ぞく} して満点を取り続けた。

テ ス ト 四年生で習う漢字④

□に漢字を書き入れて、文を作りましょう。

28 へい
 たい
 が ぐん
 手をはめて作業をする。

29 か
 物を船に乗せて りく
 上の そう
 庫まで
 運ぶ。

30 そつ ふく
 近に じん
 やく は かなら
 束した。 きよう
 力すると

31 じ
 歌を りん 童が なか
 しやう よ
 している。 く え
 顔で

32 い おき
 ち 合で ぎよ
 をはかる。 業をするため、船の

33 しか せつ
 や ぼく
 くま 場に来たが、
 はいないと聞いてがっかりした。

34 む きゆう
 理なく成 しやう
 こう 料だけで しやう
 した。 金を返し終えることに

35 太陽がしずんで夕 や
 辺りは しず けが広がり、
 か かなった。

36 えい しやう
 けん に と
 こう んだ食事のおかげで
 だ。 いつも

テ ス ト 四年生で習う漢字⑤

□に漢字を書き入れて、文を作りましょう。

37 さい しよ
は い
戸水のあまりの冷たさに
おどろいた。

38 しん ねん
を さ べつ 持 せん っ せん て
や せん
争に
反対する。

39 せん きよ
で みん 国
は ねが 平和を
う ひよう 人物に
を投じた。

40 産地から ひ
行機で野 さい
を運ぶ。

41 四国地方には え ひめ
、 か
川、 とく
島、
高知の四県がある。

42 し が
県と ぎ ふ
県、 さ
賀県と
長 さき
県は、それぞれとなり合っています。

43 わたしは山 なし
県で生まれました。

44 さい 玉、 ぐん 馬、 とち 木、 な
良の四県は、
いずれも海に面していない。

45 いばら き
県では野菜、静 おか
県では
茶が多く生産されている。

46 新 がた
県の広さは大 さか ふ
の広さの
六倍以上ある。